

会議結果報告書

会議の名称	平成 26 年度第 4 回札幌市子ども・子育て会議 認可・確認部会
日時・場所	平成 27 年 1 月 16 日（金）13：30～14：00 札幌市子ども未来局大会議室
出席委員 6 名/7 名中	齋藤寛子、品川ひろみ、ニコルス哲子、前田元照、三井有希子、山田暁子 （敬称略）
傍聴者数	なし

議事	概要
1. 利用定員の設定案について	<p>【事務局の説明内容】</p> <p>○ 資料に基づき、利用定員の設定案について、以下のとおり説明がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規に認可する施設・事業に対し設定する利用定員については、認定子どもの区別に設定し、その合計数を認可定員と同数とすることとして第 5 回子ども・子育て会議において承認を得ており、この考え方に基づいて設定。 ・審査対象のうち、事業所内保育事業については、地域枠と従業員枠があるが、供給計画に計上できるのは地域枠の定員のみ。 ・保育所及び地域型保育事業については、札幌市に認可を行う権限があり、事前審査において整備計画を承認し認可を行うことが適当であると判断。札幌市社会福祉審議会児童福祉専門分科会等からも、札幌市の審査は適当であるとの承認を得ている。 ・すでに承認された利用定員の数値に、今回審議される数値を加えても、「新・さっぽろ子ども未来プラン」における事業計画の目標数値を超えて、供給過多になっていないことを確認。 ・目標数値に満たない部分については、引き続き、既存施設の認可事業への移行等により充足していく予定。 <p>【委員からの質問と事務局の回答】</p> <p>○ 【委員質問】 新規開設される保育所 9 件の、経営母体と設置場所はどこか。駅に近い場所に設置されているのか。</p> <p>【事務局回答】 「アスク新琴似保育園」、「アスク白石保育園」、「アートチャイルドケア札幌二十四軒」は、駅に近い賃貸物件。その他は住宅地に新築で整備。経営母体は、「アスク新琴似保育園」「アスク白石保育園」「アートチャイルドケア札幌元町」「アートチャイルドケア札幌二十四軒」は株式会社、その他は社会福祉法人。</p> <p>○ 【委員質問】 「アスク新琴似保育園」と「アスク白石保育園」の設置者は具体的にはどこか。</p> <p>【事務局回答】 日本保育サービスという株式会社。</p>

○【委員質問】園庭は設置されているのか。

【事務局回答】「アスク新琴似保育園」、「アスク白石保育園」は賃貸だが、親会社が新築した物件であるため、園庭が整備されている。「アートチャイルドケア札幌二十四軒」は、園庭がないため、徒歩300m以内にある公園を代替園庭として設定。その他は新築で園庭も整備している。

○【委員質問】保育所は全て今年開設されるものか。利用申請はもうできるのか。

【事務局回答】全て今年の4月開設予定。利用者の入所受付も行っている。

○【委員質問】小規模保育事業のうち、学校法人が経営しているものはどこか。

【事務局回答】「太陽こころナーサリーあいの里」と「太陽こころナーサリー平岸」の2カ所のみ。

○【委員質問】事業所内保育事業のうち、「コープさっぽろ保育園aurinko」以外の事業者はどこか。

【事務局回答】「じゅんのめ保育園」は、スポーツクラブ等を経営している株式会社アドレ。「もなみの里保育園」と「さくらんぼ保育園」は、社会福祉法人で、高齢者施設に合築。「こどもクラブしらかば」は、社会医療法人が経営し、サービス付き高齢者住宅に合築。

○【委員質問】他にも事業所内保育所はたくさんあると思うが、申請が少なかったのか。

【事務局回答】一般の子どもを受け入れる事業所は少なかった。

以上の審議の結果、利用定員の設定案について、部会委員全員の了承を得た。